

廣報廣聽常任委員會會議錄

長 与 町 議 会

広報広聴常任委員会会議録

本日の会議 平成 2 8 年 1 1 月 8 日

召集場所 長与町議会議場（第2委員会室）

出席委員

委員長	金子	恵	副委員長	安部	都
委員	中村	美穂	委員	岩永	政則
委員	分部	和弘	委員	浦川	圭一
委員	吉岡	清彦	委員	竹中	悟

欠席委員

なし

職務のため出席した者

課長補佐 細田 浩子

本日の委員会に付した案件

- ① 町議会に対する町民の意識調査について
- ② 議会報告会について

開 会 9時30分

閉 会 11時15分

○委員長（金子恵委員）

定足数に達しておりますので、本日の議会広報広聴常任会を開会いたします。

今日はちょっとボリュームがあるので、さくっと行くための方法としてどういうふうにしようかということで、ちょっと悩んでるんですが。資料が多いので、まずその資料を読んでいただく時間が必要なのかなと思うんですが、そのための時間をとるか、それとも一つ一つしていくかというところで、この資料を表記の分ですね、表記の分がかなりあるので、一つ一つつぶしていく必要があるとなれば、前もってちょっと読んでいただく時間が入ればと思うんですか、皆さんどうでしょうかね。

15分か20分ぐらい時間とった方が、よければ休憩をとって、なければもう1問目から一つずつ、やっていこうかと思うんですけど、いかがでしょうか。

浦川議員。

○委員（浦川圭一委員）

今、やっていくとかなんとか言葉で言われてますけど、今日のこの委員会で何を求めて話をしていくのかということも決めていただきたい。そうしないと一つずつやっていくとかと言われても、何をやっていくのか、ちょっとよく分からんもんですから。

○委員長（金子恵委員）

このアンケートをこの委員会に託された時に、アンケート結果の前回との比較、そして検討、その数字を見て、どういうふうな町民の思いが変わっているのか、そういうところを分析をしてくださいということで受けたので、皆さんから数字を見てですね、御意見をいただいて、質問ごとにまとめて、委員会の総意として出すということが目的ですので、数字を見ていきながらでも良いですし、表記の方は比較にはならないと思うので、数字を見て進めていくのが良いのか、その点をちょっとお聞きしたいなと思いまして、いかがですかね。

岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

今、浦川議員も質問がありましたけども、今日の1件目の議題はですね、町議会に対する町民の意識調査についてというのが議題なんですね。2番目が議会報告会について、議会報告会はかなり時間がかかるんじゃないかなというふうに思いますね。ただその1点目については調査結果がね。みんなの総意で、設問は全協で決めていただいて、調査を実施をして、結果が出てきて、それを集約集計をしたということなんですね。

それで、大体こう見てですよ。こういう状況だなというのもお互いにとらえ方が違うというふうに思うんですよ。ですね、その分析の仕方もそれぞれ違うだろう。8人いれば8人の考え方違うだろう。それを敢えてまとめてね、こうなんだ、ああなんだと書いてやるよりは、これ全協に当然報告をしてね、集計結果をしましたら、こうなりましたと。ということで皆さんに投げかけてですね、それぞれがどう捉えていけるのか、いかれるのか、それはもう個々人の問題だろうというふうに思うんですよ。

何か全協で特別に委員会ですね、こういうことを決定して報告をしてくださいというのがあったんですかね、私記憶ないんですけどね。まとめてどうのこうの分析をして、所見を書いて出さないとかね。そういうのは何もなかったというふうに思うんですけど。何かあったんですか。

○委員長（金子恵委員）

全員協議会で言われたのは、このアンケート結果をもとに、ある程度の前回と比較・分析してほしいということと言われておりますので、その予定でこの資料を今日は作らせてもらったんですが。

安部委員。

○委員（安部都委員）

今、前回との比較・分析っておっしゃいましたけれども、5年前の前回との比較・分析ということは人数的にも全く違いますし、5年前というところで、ちょっと比較というのは余り意味がないんじゃないかなというふうに思います。そして今日、このまとまった意識調査は、一応参考的な配付としていくところで、この次に全協か何かでしっかりと皆さんで、これについての審議をしていくということがよろしいのではないかと。今日は配布してそれぞれが、ちょっと目を通しておくというところでも良いのではないかなというふうに思いますけどね。何の目的を持ってこれを今出して、これはこうこうですよというのが、ちょっと余り意味が分からないんですけど。

○委員長（金子恵委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

一応そのもう比較・分析をやっていくんだということで決めてあるのであれば、もう一問ずつやっていくんですよ。やっていきましょうか、とりあえず。

やっていったら良いと思います。

○委員長（金子恵委員）

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

いや、僕もね、分析をせろとか何とか言われたかな。全協の中でそういう話出ましたかね。僕も覚えありませんね。だから、これは資料として、アンケートとしてももらったんだから個人的にね、各議員さんたちがこれを見てね、感じれば良いことであって、そしてまた、この中には議会運営委員会とかいろいろなものが入ってるんだから、うちで分析するんじゃないかって、やっぱりそれぞれの担当のところでやるべきであってね、これは一様にアンケートをもらったから集計こうですよということを一回出すだけで良いんじゃないかな。前回との分析をするとしたら、これ大変でしょう。そしてその分析をして、どんな形で、分析をする意味が分からない。そういう分析の仕方、内容というのはどんなことを分析をするんですか、要は結局、報酬からいけば、給料の高い・安い。高いとか、

これに対して前回はどうだったのかということをしてどうなるんですか。僕はそういう必要ないと思いますね。全協では、分析してくださいとかいう話まで出てないと思う。僕は全協欠席していませんから、それと始めの出だしがね、これは議長、事務局のサイドでやった問題で、後からうちの方にぼんと投げ投げかけられたようなことですけどね、初めから私たちはこうやって分析しましょうとか、こうやってこうやりましょうということは話は一切やってない。その辺も含めて、ちょっとその分析というのは、僕はちょっとこう、なじまないですよ。分析をするのであれば、5年前のを持ってきて一つ一つ重ねていかないといけないと思いますよ。

○委員長（金子恵委員）

資料の説明させていただきますと、この棒グラフと折れ線グラフの分があると思うんですけども、こちらの方に棒グラフ・折れ線グラフとリンクして下に23年度分のアンケートとの比較の数字は入れてあります。一応その比較はするよというところは確実に言われておりますので、一応1問目から15問目までありますので、ある程度こう、比較ができるところだけでも、御意見をいただいてちょっとまとめたいというふうには考えていたんですけども。

岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

さっきの発言は申しわけなかったです、そういう記憶はなかったもんだからですね。今、言われた比較をと言われれば、もう比較が出てますよね。良い物が出てると今感じました。それでね。分析をと言われたから、これをして分析しましたよということで全協に出せば良いわけでしょ。ですね。だから、私が始まる前に言ったのは、調査をした結果はこうこうでした、簡単にね、主なものだけさささと事務局で説明して、それで委員長が比較はこうして出てますよと。これを委員会に報告するようにいたしましょうかというね。そういう形で今日は良いんじゃないんですか。何かこれを、全員でどう分析するんですかね、例えば青がね、今回はトータル的に少なかったですとかね。それで、どうなったんですかと。少ないのは少ないわけですよ。きた結果がですね。だから、これしようがないわけですよ。それを広報委員会になぜ少なかったのかと、お前たちはもっと集めればよかったんじゃないかなんて言う議員はいないだろうと。そうですかということで受け取られるだろうと思うんですけど。

○委員長（金子恵委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

今言う比較は確かにこう載っておりますよね。比較はだから見てわかると思うんです。この比較の分析でなくてあくまでも今回のアンケート結果の分析だと思うんですよ。ただ、これは、ここにおられる委員が分析することじゃなくて、私はもうあくまでも住民の方が分析をされることになろうかなと思っておりましてですね。アンケート

の中に公表しますっていうこと載せてますよね。この結果については。そういうものをどういう方法で公表していくかということをお話し合われるのかなぐらいに思って、今日は来たんですよ。だから今日は何の話をされるのかなと思って自分も分からずに来たんですけども、公表の仕方とかですね、そういったものを話し合いをされるのかなという、ちょっと私も来とったもんですから、

○委員長（金子恵委員）

しばらく休憩します。

（暫時休憩）

○委員長（金子恵委員）

休憩を閉じて委員会にもどします。

今、全員協議会の会議録をちょっと確認したところ、9月3日の全員協議会の中で議長が広報委員会において分析をしなければいけないだろうということを述べられておりますので、一応その気持ちで今日の委員会を開いたんですが、確かにですね、資料の方も多くございますので、こちらの方を今回はお持ち帰りいただいて、しっかり読んでいただいて、分析というのもしっかり先ほどおっしゃったように幅広いと思うんですけども、まず数字に関して、この数字が減ってるのは、やはりその議会の姿が見えていないんじゃないかとか、そういうふうなコメント的なものの意見を集約するという形しか委員会ではできないと思うので、その程度のものしか意見もきかないと思うので、そちらの方の意見をいただくためにも、今日は一旦お持ち帰りいただいて、しっかりコメントの方もあわせて読んでいただいて、次の特別委員会前にもう1回開きたいと思うので、その時に、もし御意見があれば、その時にいただくということで、今日は一旦この意識調査の分は、後で読んでいただいてということにしても良いですかね。

岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

12月の何日かね、全協は。6日、その時には何か報告、これのことですか。12月6日に報告せんばいかんとでしょ、委員長はね。何を報告するかというのをね。今日、例えばこういう分は全部やりますというものを決めておけば、それに対して何か委員長から簡単にコメントしますとかね、そのあたりは決めておかないと勝手にしたとか何か言われればね、また、気分が悪いだろうし、今日はその程度で決めるのはね。また、きちっと決めとけば。後は委員長にお任せするわけですよ。次にまた会を開くというのは、議会が終わった後の話じゃないですか。その前の話なんですかね。前にまたやるんですか、このことで。今日はもう8日ですからね。その前でなかったら、私もさっき言ったように、委員長に委任したような形でこれとこれを報告しますと。それで私の方で若干コメントしますということをね、決めておけば良いねと思ったんですけど。その前にやられるんですね。

○委員長（金子恵委員）

私の方でコメント、一任でということですか。だからその報告をするときのコメント的なものっていうか、こういうことが原因でこの数字が高くなったとか、低くなったっていうぐらいの程度のことはやっぱり話をしとかないといけないのではないかな、この委員会ですらと思ったんですけど、その部分を今日したかったんですよね、本当であれば。でも確かに資料が多くございますので、次の議会前の広報の時にでも、こちらの資料として、案として私が1つずつ、ある程度何かこう私だけじゃなく皆さんもお願いをしたいところですけども、考えてっていうか、こういうことではないかということで、表を作って資料として出すことができるかとは思いますが、これに当たって他の議会の所を見たら、ある程度コメントを載せて、調査結果というのを載せてる所があるので、そういう所を参考にしながら、コメントを書くっていうか、そういうことをすることはできるんですけども、一任でその資料作って良いということであれば、次回の広報委員会までには作りますけれども、それでそれを精査していただくという方法もあろうかと思えますけれども、それに足したり引いたりということで、やっていくということでもよろしいでしょうか。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

アンケートをとって事実の数字が出てきて、そして前回との比較はここにのつとるわけでしょ。そして、内容についてはここに書いてあるわけだから。これを全員に渡せば済むことじゃないですか。そしてあとは議長がね。このことについて要望・諮問をする場所を決めて議運なら議運に諮問をするとかということを決めてもらうと。そういうことだと思えますよ。だから、その議長が諮問する部分をね、私たちが話し合いをするのかということか、コメントになるのか、これは僕は必要ないと思うけどね、コメントは。ここに事実の資料が出てくるわけだから、あとは、これをどうやって住民の方にもう1回フィールドバックするのかと、見せるのかね。公表するのかということをお話し合っておけばそれで良いんじゃないのかな、僕はそういうふうにする。コメントを一つずつ言ったら、全部違うでしょ。ものすごく難しいと思う。

○委員長（金子恵委員）

では、町議会に対する町民意識調査のついてのこの資料は一旦お持ち帰りいただいて、この取り扱いをその議長の方に再度、一応分析ということで言われておりますけれども、どのような方法でっていうところを含めて、再度、詳しく聞きたいと思えます。

それでこのまま提出をして良いんじゃないかという議長の判断がありましたら、もうこのままを結果として他の議員さんにも提出をする。それで、アンケートの結果報告は終結するというので、何らかの方法でちょっと議長と話をしたいと思えますので、今回はこれをお持ち帰りいただくということで、よろしいですかね。良いですか。

吉岡委員。

○委員（吉岡 清彦委員）

一生懸命、悩んでおられるから、そがんでいけば良いんじゃないですか。だいたい今出てるように、その分析とか何とか大変なあれだから、これが一つのもう分析ですよっていう表現で私は良いと思います。はっきり言うてね。専門的なのをやろうとすると大変と思いますので、再度議長に尋ねてから、そうしてもらえばと思いますけど。

なかなかそうせんと進まないからね。以上です。

○委員長（金子恵委員）

では、今吉岡議員がおっしゃられたように、一応議長の方に取り扱いの方を再度確認をいたしまして、それから他の議員の皆さんにはお配りをしたいというふうに思います。

では、次、議会報告会についてなんですが、今日、議会報告会について決めたいのが、全員協議会で諮ったところ、やはり各地区でのテーマを決めた方が良いんじゃないかというご意見が多かったので、そのテーマの決め方ですね、どのようにしてテーマを決めるのか。テーマの決め方について、今日はご意見をいただいて、進めたいというふうに思うんですけども、それと、もう一つ考えているのが、資料をどのようにするか。

資料をつくるとしたら9月議会、12月議会の含めたものになろうかと思うので、そのとき、パワーポイントを使うという意見も出てましたのでそのあたりも含めて、まずテーマの決め方から皆さんに意見を聞きたいと思います。

吉岡委員。

○委員（吉岡清彦委員）

その報告会ですので、今まで見てきたその視察でね。そのテーマっていうのは地元から、農村地帯の地域におけるとか、そういう要望があって何かしたような気がするけども、我々がする議会報告会というのは、こちらからするわけで、ということは、その地域のテーマというのはわれわれの方でつくるのかどうかということですよ。中央地区であれば、どういうテーマがあるとかね、あるいは高田地区であればどういうテーマがあるとか。場所によるテーマでしょうからね、会場のね。なかなかこれまた難しいような、そういう議会側からするテーマの提示の仕方ね。そこんところもまたよくこう考えていかんといかんんじゃないかという気がしますけどね。そういう私の意見ですけどね、どういって私も言いきらんけどもね。

○委員長（金子恵委員）

ほかにありませんか。

竹中議員。

○委員（竹中悟委員）

まずね、要は流れをね。作って行って、その中でテーマを作るのは構わないけど、どの辺のウエイトでテーマをつくっていくのか。結局、議会報告会だから今、委員長は12月、9月と言ったけど、これ1年に1回しかないんだからね、この2カ月を一つのターゲットにして良いのかどうか。基本的にはこれ当初と決算という形にしかならんと僕は思うとですよ、そういうことで1年に1回しかしないんだから、その報告を総務と

こちらの方ね、産業と、四つの委員会の報告がまずあるわけでしょ。それから、あとそのテーマをつかって、懇談会・要望みたいなやつを聞くような流れをまずつくっての時間単位をどうするかと。その中でテーマをどうするかという順序正しくつくっていかないとね。先にテーマ・テーマといってもそう簡単にいかない。常任委員長の報告は、やっぱり最低でも4人もあるわけでしょ。時間単位が1時間半ぐらいだったら、その中でウエイトがどれくらいになるか。そしたら、テーマもどれくらいの時間でやらなくちゃいけないのかというのが当然出てくる。そしたら、余り大きなボリュームをするテーマであると、それはもう時間が足りない。そういう流れをつくった後に、していった方が僕は良いと思う。

○委員長（金子恵委員）

ほかにありませんか。

しばらく休憩します。

（暫時休憩）

○委員長（金子恵委員）

休憩を閉じて委員会に戻します。

ただいま、今年度の議会報告会開催要領に関して皆様にご協議をいただきましたので、次回委員会までに、そちらの方、清書いたしまして、提出をして、そしてまた、実施に向けてですね、再度協議を重ねていこうというふうに考えておりますので、よろしくお願いたします。

他に本日の委員会にあたり皆様から何かないでしょうか。無いようでしたら、本日の議会広報広聴常任会を閉会いたします。

皆様、お疲れ様でした。

（閉会 11時15分）

委員長